

# 大 麦 情 報 (4号)

令和7年3月 日  
砺波農林振興センター  
JAなんと営農部

今年は積雪が多く、生育が遅くなっています。ほ場に雨水などが停滞しないように、雪解け後、すぐにほ場の排水状況を確認しましょう。

- ①排水対策を徹底しましょう。
- ②分施肥体系の場合は停滞水がなくなったら速やかに追肥を行いましょう。

雪解後、ほ場に水が多く停滞し、根が腐り、低収となった（H30）

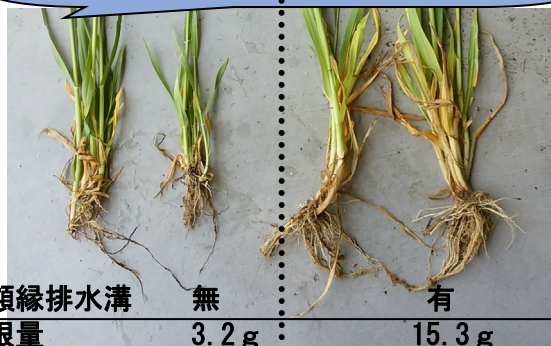
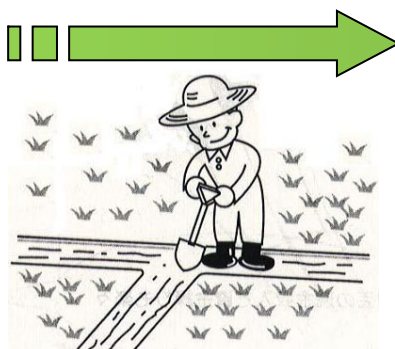


図 止葉展開期の根の状況（H30 南山田地区）

## 1 排水対策

排水不良のほ場では根が腐り、登熟不良となります。

すぐにほ場の排水状況を確認し、雨水などが停滞しないように溝を手直ししましょう。



溝を連結し、排水を促す



## 2 消雪後追肥の施用 ～追肥前に排水を良くし、肥料効率を高めましょう～

### （1）分施肥体系（基肥：「基肥555」）

| 施用時期（3/25～31 頃）                    | 茎数  | 硫安の施用量   |
|------------------------------------|-----|----------|
| ほ場に停滞水がない状態で<br>施用直後に多雨や降雪が予想されない頃 | 少～並 | 20kg/10a |
|                                    | 多※  | 15kg/10a |

※「茎数：多」は、麦が繁茂し、土が見えないようなほ場（ $m^2$ 当たり1,200本以上）。

### （2）肥効調節型体系「エコ大麦44号」

原則、追肥は不要です。なお、色が極端に淡い場合などとはご相談ください。

JAなんとメールマガジンの登録はこちらから  
営農情報をスピーディーにキャッチ！



お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または  
砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ